

玉置の仕事場ワークショップ

2021年4月10日

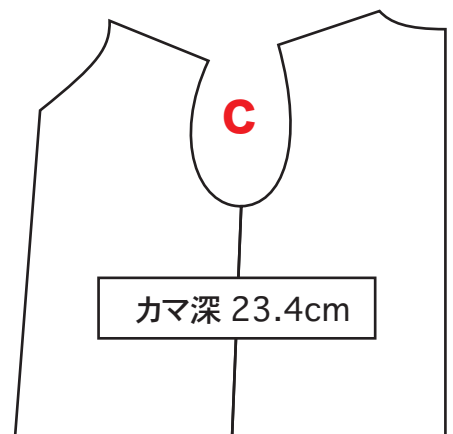
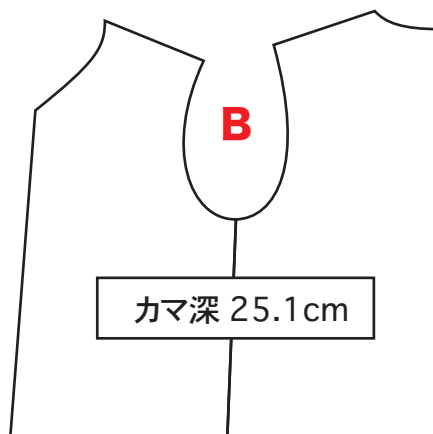
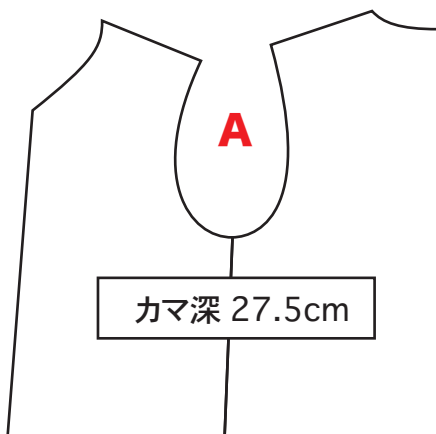
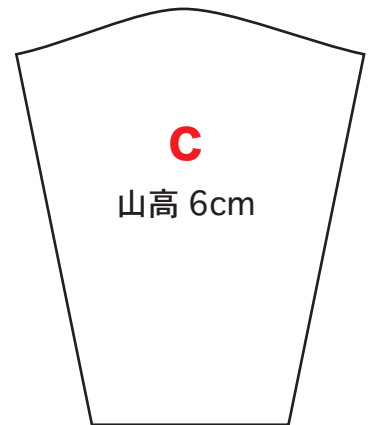
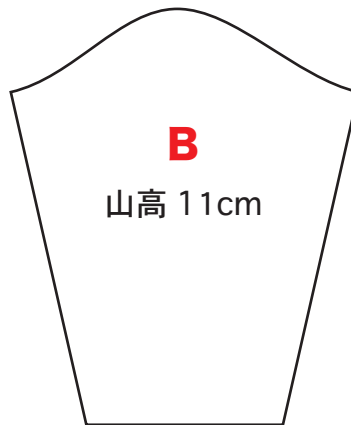
“ TOPS の運動機能 ”

みなさんこんにちは。オンライン・ワークショップにご参加いただきありがとうございます。

ライブにご参加いただくにあたり、以下のレジュメを事前にご覧ください。TOPSの運動機能に関するクイズを用意しました。みなさんの常識がどこまで通用するかを試していただきたいのですが、これによってワークショップが3倍面白くなること間違いなしです！ それでは土曜日の夜8時にお目にかかりましょう！ ビールのご用意もお忘れなく！

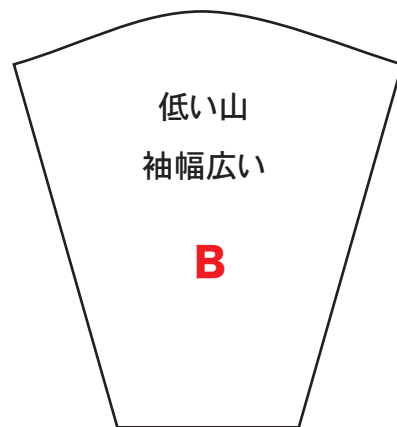
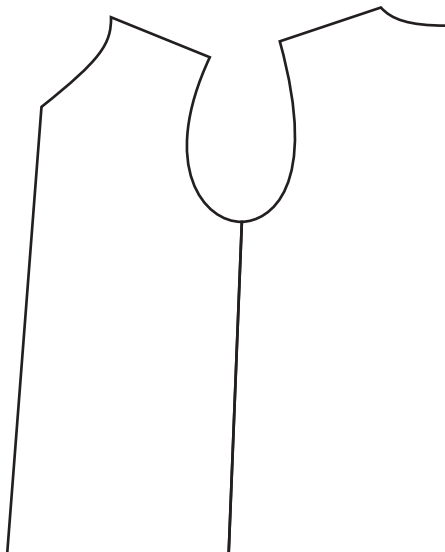
<問1>

袖幅が同じで山の高さの異なる3個の袖と、それぞれに対応するよう、カマ深寸法の異なる身頃が3個あります。運動機能が高い順に並べてください。



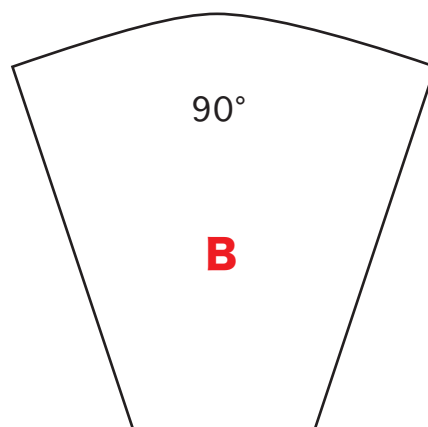
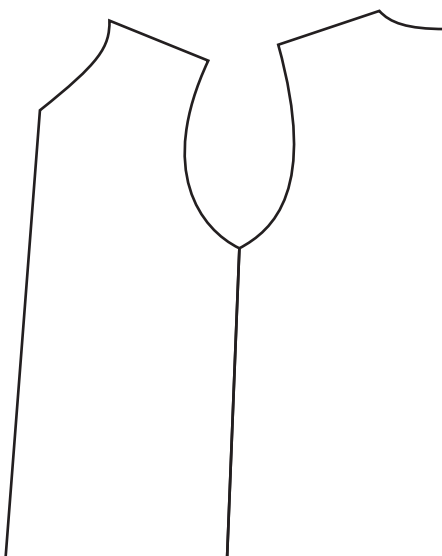
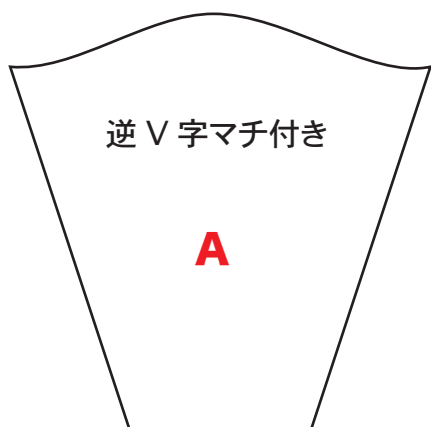
<問 2>

山の高さの異なる2個の袖があります。アームホールの寸法はどちらも同じなので、同じ身頃に取り付けることができます。運動機能が高いのはどちらの袖でしょうか。



<問 3>

山の高さも袖幅も同じで、谷底形状の異なる2個の袖があります。一方は90°、もう一方は逆V字形のマチ分がついています。アームホールの寸法はどちらも同じなので、同じ身頃に取り付けることができます。運動機能が高いのはどちらの袖でしょうか。



<問 4>

以下のパターンは脇から袖下を1枚のマチとした、いわゆる典型的なピボット・スリーブと呼ばれるものです。THE NORTH FACEでも良く用いるパターンですが、下袖が身頃と一体になるよう設計されています。この袖の運動機能は、上記の袖と比べて良いか否か、以下の中からお答えください。

- A** 最も良い
- B** 最も悪い
- C** 他と大差ない

